

算数科学習指導案

単元名 なんぼんめ ～〇〇の場所を説明して、宝を手に入れよう～

たんぼぼ1 (知的障害特別支援学級)

第2学年 1名 第4学年 1名 第6学年 1名 計3名

指導者：平田 修子

1 本単元で育成する資質・能力

「主体的に学ぶ力」「かかわる力」

2 単元観

○学習指導要領のねらい

特別支援学校学習指導要領 (各教科編) 算数科

A数と計算 (3段階)

ア (イ) ㊦数のまとまりに着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、学習や生活で生かすこと。

B図形 (3段階)

ア (ア) ㊦前後、左右、上下など方向や位置に関する言葉を用いて、ものの位置を表すこと。

○単元観

児童は、これまでにものの位置を表現するのに、「あれ。それ。」などの抽象的な言葉を使うことが多い。本単元は、ものの位置を基点となる左右・上下という言葉を使って、「右(左)から〇番目。上(下)から△番目。」と話すとき、相手に分かりやすく説明することができることを知り、方向や位置を表す言葉には、前後、左右、上下などの方向を表すものと、一番前や何番目、真ん中などの位置を表すものがあり、一定のものを基準として表現することが大切である。

○児童観

<2年 A児>

自分が知っていることを話すことができるが、相手に分かりやすく説明することは、十分とはいえない。また、問題文の意味理解に間違いがあったり、授業中、集中が続かなかつたりする。

<4年 B児>

学習に意欲的に取り組もうとする姿が見られる。数の数え方について、数えるものによって数え方が変わると理解が難しい。また、文章題の意味理解に時間がかかり、難しいと思ったら、「分かりません。教えてください。」と、すぐにあきらめてしまうことがある。自分の考えを聞かれると答えるが、相手に分かりやすく説明するのは難しい。

<6年 C児>

数の数え方は定着していて簡単な計算はできるが、とりかかりに時間がかかる。左右・上下などの言葉は分かっているが、順序数として、位置を表すために使うことは難しい。また、自分の考えを説明したりすることは十分とは言えない。

○指導観

<全体>

指導にあたっては、生活単元学習「おもちゃを作ろう」で、ガチャのおもちゃを作り、仕組みの工夫をした。そのおもちゃの使い方を確認させ、授業に使用し、意欲につなげる。

また、実生活の中での体験をイメージさせるため、校内の様子を画像で表し、導入として、自分の持ち物の位置を説明する活動を行い、本時では、学年の靴箱の運動靴の位置を説明させ、位置の表し方について習熟を図りたい。

<2年 A児>

友達に分かりやすく説明することができるようにするために、説明の方法を示し、それを参考に友達に向けて説明できるようにさせる。

<4年 B児>

自分の考えを説明できるようにするために、説明カードを参考に、位置を説明できるようにさせる。

<6年 C児>

友達との関わりを持たせるために、自分の考えを説明カードを参考に位置を説明し、友達に「いい？」と聞いて反応を求め、説明を続けていくことができるようにさせる。

3 学習指導計画（全3時間）

次	時	学 習 活 動	評 価	評価方法
			評 価 規 準	
一	1	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; display: inline-block; background-color: #e0e0e0;">課題の設定</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; display: inline-block; background-color: #e0e0e0;">情報の収集</div> ○個数や順番を正しく数えたり、表したりする活動を通して、順序を表す数について知る。	A児 前後の言葉と数を使って、位置を説明することができる。 B児 前後の言葉と数を使って、位置を説明することができる。 C児 前後の言葉と数を使って、位置を説明することができる。 【主体的に学ぶ力】	行動観察 発表 ワークシート
	2 (本時)	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; display: inline-block; background-color: #e0e0e0;">情報の収集</div> ○左右、上下などの言葉と順序数を使って、ものの位置を表す。	A児 自分の考えを分かりやすく説明することができる。 B児 自分の考えを説明することができる。 C児 位置の表し方について、あいづちをしながら聞いたり、話したりすることができる。 【かかわる力】	行動観察 発表 ワークシート

3	<p style="text-align: center;"> ほめる・創造・表現 </p> <p>○既習事項の理解を深める。</p>	<p>A児 基準になる言葉と数を使って、位置を説明することができる。</p> <p>B児 基準になる言葉と数を使って、位置を説明することができる。</p> <p>C児 基準になる言葉と数を使って、位置を説明することができる。</p> <p style="text-align: center;">【主体的に学ぶ力・かかわる力】</p>	<p>行動観察 発表 ワークシート</p>
---	---	---	-------------------------------

4 本時の展開

本時の目標

- <2年 A児> 自分の考えを分かりやすく説明する。
- <4年 B児> 自分の考えを説明する。
- <6年 C児> あいづちをしながら、話したり聞いたりする。

○キャリア教育との関連からのねらい

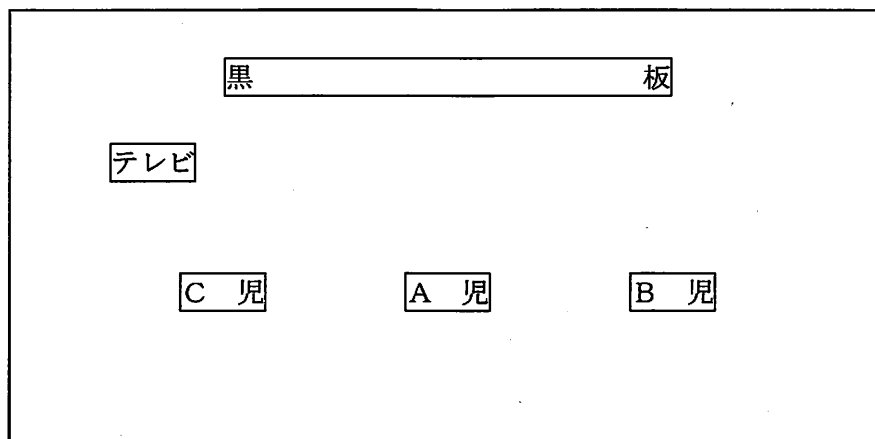
【人間関係・社会形成能力】

- ① 自分の考えを分かりやすく発表する。

【キャリアプランニング能力】

- ① 日常生活と算数で学習したことの関連を理解する。

5 配置図



7 板書計画

⑥

〇〇の場所を説明して、宝を手に入れよう。

(A児)
友だちに分かりやすく説明しよう。

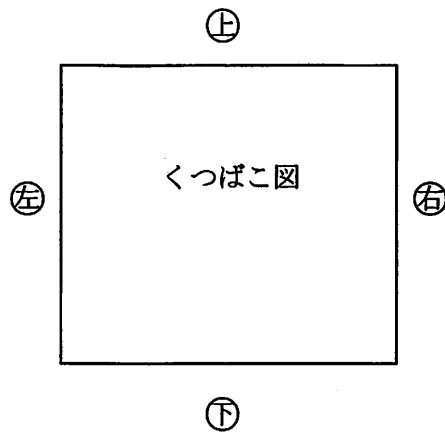
(B児)
分かったことを説明しよう。

(C児)
あいづちをしながら、話したり、聞いたりしよう。

- ① 右 (左) から、□ばんめ。
- ② 上 (下) から、□ばんめ。

⑦

ものの位置は、
左右・上下の言葉を使って説明すると分かりやすい。



学習活動 指導上の留意点 (・) 評価 (○) 【評価方法】			
	2年 A児	4年 B児	6年 C児
見 通 し	1 前時の復習をする。 ・「前から・・・、後ろから・・・」の言葉を使って、順序を説明させる。 2 本時の学習を確認する。 (ICT) 校内の動画を見て、くつばこが学習材になっていることを知らせる。	1 前時の復習をする。 ・「前から・・・、後ろから・・・」の言葉を使って、順序を説明する方法を思い出させる。 2 本時の学習を確認する。 (ICT) 校内の動画を見て、くつばこが学習材になっていることを知らせる。	1 前時の復習をする。 ・「前から・・・、後ろから・・・」の言葉を使って、順序を説明する方法を思い出させる。 2 本時の学習を確認する。 (ICT) 校内の動画を見て、くつばこが学習材になっていることを知らせる。
	くつばこの場所を説明して、宝を手に入れよう。(2年生のまき)		
	友だちに分かりやすく説明しよう。	分かったことを説明しよう。	あいづちをしながら、話したり聞いたりしよう。
	・活動内容を確認させる。	・活動内容を確認させる。	・活動内容を確認させる。
	<活動内容> ① 2年生の名前が書いてある名前カードを1枚ひく。(例: □□君) ② □□君のくつばこの位置を2種類のサイコロ(左右・上下)を転がして、基点を決め、「□□君のくつばこは、右(左)から○ばんめ。上(下)から○ばんめ。」と、位置を説明する。 ③ くつばこの位置の説明が合っているかどうか、友達と確認をする。 ④ 位置が正しかったら、絵図の□□君の位置から数字カードをもらう。 ⑤ 振り返りの場面で、数字カードの回数分、ガチャを回し、宝を手に入れる。		
展 開	4 くつばこの位置を説明する。 ・順番に、説明させる。 ・説明の方法を参考にしながら、言葉や数字を当てはめて説明できるようにさせる。 「□□さんは、右(左)から○番目。上(下)から○番目です。」 ・説明ができれば、友達に確認させる。	4 くつばこの位置を説明する。 ・順番に、説明させる。 ・説明カードを準備し、言葉や数字を当てはめて説明できるようにさせる。 「□□君は、右(左)から○番目。上(下)から○番目です。」 ・説明ができれば、友達に確認させる。	4 くつばこの位置を説明する。 ・順番に、説明させる。 ・説明カードを準備し、言葉や数字を当てはめて、友達に「いい?」と確認しながら説明できるようにさせる。 「□□さんは、右(左)から○番目。いい?それから、上(下)から○番目です。いい?」 「わかりました。いいよ。」 ・説明ができれば、友達に確認させる。
	①自分の考えを分かりやすく発表する。 【人間関係・社会形成能力】	①自分の考えを分かりやすく発表する。 【人間関係・社会形成能力】	①自分の考えを分かりやすく発表する。 【人間関係・社会形成能力】
	○友達に分かりやすく、説明することができる。 【行動観察・発表】	○分かったことを説明することができる。 【行動観察・発表】	○あいづちをしながら、話したり聞いたりすることができる。 【行動観察・発表】
ま と め	5 分かったことを発表する。 ・ものの位置を左右、上下の言葉を使って説明できることに気付かせる。 日常生活と算数で学習したことの関連を理解する。 【キャリアプランニング能力】	5 分かったことを発表する。 ・ものの位置を左右、上下の言葉を使って説明できることに気付かせる。 日常生活と算数で学習したことの関連を理解する。 【キャリアプランニング能力】	5 分かったことを発表する。 ・分かりやすく話したり、友達の話に反応しながら、聞いたりするとよいことに気付かせる。 日常生活と算数で学習したことの関連を理解する。 【キャリアプランニング能力】
	6 学習を振り返る。 ・学習を振り返り、宝を手に入れることができるようにさせる。	6 学習を振り返る。 ・学習を振り返り、宝を手に入れることができるようにさせる。	6 学習を振り返る。 ・学習を振り返り、宝を手に入れることができるようにさせる。